

なぜ、ごみを減らす必要があるのでしょうか

前回、リデュース（ごみの減量）とリユース（物の再利用）に優先的に取り組むことは、ごみの排出量の削減につながることを紹介しました。

では、なぜごみを減らさなければいけないのでしょうか。

ごみ処理経費削減のため

現在、彦根市のごみ処理の費用は、1年間に約12億円かかっています。これは、市民の皆さんが、一人あたり1万円以上負担している計算になります。

もし、一日に出すごみの量を、市民一人ひとりが50グラムずつ減らせば、年間で約18キログラム、彦根市全体で約2千トンのごみを削減できます。

ごみ処理の経費にすると、約6千万円分の削減になります。家庭から出るごみの量を減らすことにより、限られた財源をより効果的に使うことができるのです。

リサイクルしやすい環境づくりに向けて

家庭で、ごみの量が多いと、その中から資源を分別する手間がかかります。

普段からリデュースとリユースに取り組みましょう。どうしても捨てなければならないものは資源として分別することが、効率的なリサイクルにつながります。

リサイクルをして作られた製品を選んで購入する「グリーン購入」への取組にも、ご協力をお願いします。